

きょう、美山拠点に

自然を生かした体験教室を通し、たくましい子どもの育成を図るNPO法人「自然体験共学センター」(福井市)が1日から、美山町上味見地区を拠点に総合的な環境教育活動を行う「ふくい森の子自然学校」をスタートさせる。小学生を対象に日帰りや長短期の合宿プログラムなどを組み、地域の人と交流しながら自然体験活動を進める。

スタート

森の子学校

福井のNPO

自然体験通じ環境教育



森の子自然学校の活動拠点となる上味見生涯教育施設「美山町中手」

同センターは二〇〇一年四月、長野県に本部を置くNPO法人「グリーンウッド自然体験教育センター」の県事務所として発足した。県内でも子供たちの生活が都市型

となり、自然体験の場が少ないことから、これまで山や川遊びなどを展開。昨年三月に独立し、美山町上味見生涯教育施設(旧上味見小)を拠点に活動を行うこととし

森の子自然学校は、集団でキャンプ生活をしながら自然や生き物への理解を深め、子どもたち自身の感性を磨いていく。環境教育が重視される中

で、自然の大切さを知識としてではなく、体験を通して学んでもらう。また、地元住民の協力を得て、そば打ちや種まき、苗植えなどの農作業、昔遊び体験なども行っている。

二月一日の正式発足後は、春休みの一泊二日合宿から本格的な活動を開始する。その後は週末ごとに日帰り、一泊二日の体験活動、夏休みの長期キャンプなどを予定している。活動を指導する大人向けの「自然体験活動リーダー講座」も随時開

いていく。

辻一憲理事長は「短期間の経験で目に見える効果を期待するのは難しいが、十年、二十年後、ここで経験が何らかの形で子どもたちの人生に生かされれば」と期待している。参加希望、問い合わせは森の子自然学校「807797(3)2011」。